

市民協働推進課

■第16回男女共同参画推進市民会議録

日時	平成20年10月8日(水) 午後7時～9時
場所	武蔵野商工会館第1・2会議室
出席者 (敬称略)	委員 岩城末子、大橋仁、小澤和彦、小野公一、菅野昭彦、工藤阿貴、 千田有紀、高田素子、林朋子、三上かおり、吉川良子 事務局 男女共同参画担当職員、男女共同参画推進市民会議ワーキング スタッフ 傍聴者 1名
議題	1 報告書案のまとめについて 2 その他
議事 要旨	1 事務局より ・報告書案の構成について ・市民意識調査の冊子案について 2 各担当者より、前回までの報告書案について変更等の報告 (各委員からの意見) ■ 前文で「あらゆる分野へのめくばせ」という指摘がありながら、各論の中で、経済的困窮者へ男女共同参画の視点からどのように取り組むのかが触れられていないのが気になった。 ■ 報告書の作成に当たって、網羅的による欠点を補うためにあえて目標を絞り、関係部署の有機的連携のもとで取り組む必要性を重視したことをはっきりと述べる必要がある。 ■ 市民意識調査の集計結果で、「女性が仕事を続けていく場合の障害」の1位に保育所の不備が挙げられている。待機児童の解消も含めた‘保育所のさらなる整備’を提言として入れたい。

- 市民意識調査の集計結果が構成に生かされていて説得力がある。
- 「政策方針決定の場への女性参画の促進」の人材育成については、育成する人材の定義づけが必要である。
- 女性のリーダーシップ育成に関しては、それを促進・サポートする組織づくりも大切である。
- むさしのヒューマン・ネットワークセンターについては、開設10年目という節目であり、きちんとした位置づけが必要である。

(事務局)

- ・ 委員長と共に報告書案の校正を行い、次回の最終市民会議の前に委員の皆様に見ていただくようにする。

<次回の市民会議>

報告書案について議論して、最終案をかためる。

次回

平成 20 年 10 月 27 日(月) 午後 7 時～
武蔵野商工会館3階講座室

市民協働推進課

■第17回男女共同参画推進市民会議録

日時	平成20年10月27日(月) 午後7時～9時
場所	武蔵野商工会館3階講座室
出席者 (敬称略)	委員 岩城末子、小澤和彦、小野公一、菅野昭彦、工藤阿貴、 千田有紀、高田素子、林朋子、三上かおり 事務局 男女共同参画担当職員、男女共同参画推進市民会議ワーキング スタッフ 傍聴者 2名
議題	1 報告書案の最終チェックについて 2 その他
議事 要旨	1 報告書案の前回からの変更、構成等について (各委員からの意見) ■ 英語の表現などは、説明をつけるか分かりやすい表現に変えていくほうが読みやすい。 ■ 用語解説は、その用語の重要性を表すことにもつながるので、現段階での定義を入れるとよい。 ■ 今後の事業評価のためにも数値目標が出せるものについては、出していくべきだ。 ■ 男女共同参画条例に関する提言は、制定に向けてははっきりと意思表示をしたほうがよい。 ■ 相談事業には、DV被害者に分かりやすい緊急相談窓口を設けるべきだということを加えたい。 ■ 庁内の男女共同参画の実現では、女性管理職を増やすことと同時に、なぜ増えないのかという問題点にも触れたい。 ■ 市民会議の常設化については、「毎年開催」とするなど具体的な提案

のかたちにしたほうがよい。

(事務局)

- ・ 報告書のタイトルについて意見をいただきたい。
- ・ 報告書に記載された数値等について主管課の確認を取り、本日の意見を反映したうえで、後日最終原稿を委員の皆様を確認していただく。
- ・ 11月の半ば頃に市長の日程を合わせて市へ提出する。
- ・ 市民会議としては、今回で一応終了する。今後は、この提言をもとに事務局とワーキングで計画を策定していく。その際は、またご意見をいただきたい。